

【社会科】 第2学年

単元名「東北地方 ～伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らし～」

平成30年11月28日（水）第1校時
2年A組（男子13名、女子10名 計23名）
指導者 桑原 亮一（指導教室 図書室）

1 単元の目標

生活・文化を中核として東北国地方を調べ、地域的特色を考察し理解する。

2 指導計画（全4時間）

- 第1時 本単元の学習課題を知るとともに、単元全体の活動の仕方を知る。
主題「東北地方の伝統文化には、どのようなものがあるか。また、なぜ継承されてきたのだろうか。」
・4人1グループの各班から調べる担当を決め、同じ課題を調べる生徒同士で再び班をつくり調べ学習をし、再びもとの班にもどり発表するという単元の活動内容を知る。
- 第2・3時 主題「東北地方の伝統文化には、どのようなものがあるか。また、なぜ継承されてきたのだろうか。」について4つのグループに分かれ調べる。
- 第4時 元のグループにもどり自分が調べた課題について説明し合う。
クラス全体で、東北地方の生活・文化についての特色をまとめる。

3 司書教諭（図書主任）との連携及び使用図書等

- ・11月中旬 図書主任と相談の上、学習課題に関する図書資料の確認。
- ・12月初旬 教室前に、調べ学習で使用した図書を展示。

4 本時のねらい

自分の担当する課題について、教科書、資料、図書館の資料を用いて調べることを通して、聞き手に分かりやすい発表の仕方を考えられるようにする。

5 本時の展開（3/4）

学習活動（分） ○：留意点、点線枠：評価、☆振り返りの子どもの意識	使用する図書等
1 単元の課題（主題）を確認するとともに、自分が調べる内容を確認する。 (5分) 主題：東北地方の伝統文化には、どのようなものがあるか。また、なぜ継承されてきたのだろうか。 4つの調べグループ ①工業について（伝統的な産業を中心に） ②農業・漁業について ③祭りや伝統的な行事について ④言葉・言い伝え・料理などについて	
2 教科書、資料、図書を用いて、自分の担当する担当の献立を考える。（42分） ・4人1グループの各班から上記の①～④について調べる担当を決め、同じ課題を調べる生徒同士で再び班をつくり活動する。 ・課題ごとに必要な資料を選択し、生活・文化を中核に東北地方の地域的特徴や人々の暮らしについて調べる。 ・どの資料が、自分の発表する内容に適しているかを判断し、取捨選択をする。 ・聞き手に興味を持ってもらえるような発表方法を考える。 ・同じ課題の友だち同士で、発表の練習をしあう。	・都道府県別みんなの日本地理 東北地方Ⅱ（学研） ・ポプラディア 都道府県別日本地理 北海道・東北地方（ポプラ社） 等
3 本時の学習を振り返る。（3分） ○次時の発表で使用する資料等の確認をする。 ○自分の発表が課題に適した発表内容になっているか確認をする。	

〈写真① 資料を探す生徒①〉



〈写真② 資料を探す生徒②〉



〈写真③ 資料を探す生徒③〉



〈写真④ 生徒のノート〉

